

令和4年度 県央教育事務所 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）【令和4年度必須事項】	職員行動指針の徹底を図り、併せて公務外非行の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「法令遵守」の関係資料を回覧し、意識の向上を図った。 ・令和4年7月4日の全職員を対象とした所内会議において、職員行動指針の再確認をするとともに、教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律についてのビデオを視聴し、理解を深めた。 ・令和5年1月4日の全職員を対象とした職場研修において、いろいろな事例をもとに職員間でグループごとに意見交換する演習を実施した。
②職場のハラスメントの防止【令和4年度必須事項】	パワハラ、セクハラ、マタハラ等の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に配慮し、パワハラ、セクハラ等の起きない職場環境づくりを推進した。 ・令和5年1月4日に全職員を対象とした人権研修を所員が実施し、さらなる意識の向上を図った。
③個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	電子データのみならず、各種名簿、給与情報、臨時的任用職員等の登録諸書類の個人情報管理やその破棄についても細心の注意を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月4日の全職員を対象とした所内会議において、情報セキュリティについての研修を行った。 ・令和5年1月4日の全職員を対象とした所内会議において、個人情報の取り扱いについて管理職から注意を徹底した。
④業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務分担に基づく適切な情報共有と相互チェック体制等の充実により質の高い業務遂行を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・体制の見直し、強化を図ることで、日常的に行われている業務の中に潜む「思い込み」や「気の緩み」を排除することを目指した。 ・令和5年1月4日の全職員を対象とした所内会議において、管理職により指導を行うとともに、全課による情報交換を実施し、共通理解を図った。
⑤交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年1月4日に全職員を対象とした職場研修を実施し、事前に交通事故や酒気帯び運転等に関連する資料を回覧するなどして、年末・年始に向けての注意喚起を行った。
<事務所独自目標>職員課 管内教育委員会に対し、体罰や不適切な指導の根絶をめざす指導		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年5月の研修において、臨時的任用職員に対し、不祥事防止の研修を実施した。 ・管内市町村教育委員会とともに、4月、7月、10月、12月の計4回、不祥事防止対策会議を実施した。
<事務所独自目標>給与課 管内小・中学校に対し、適切な経理処理のための指導		<ul style="list-style-type: none"> ・適切な経理処理に向けた学校事務職員を対象とした研修を年3回実施した。 ・管内小中学校に対し、訪問事務調査を実施し、適切な指導、助言を実施した。
<事務所独自目標>指導課 管内小・中学校教職員に対し、モラルアップの推進		<ul style="list-style-type: none"> ・教職員不祥事防止コーディネーター研修講座及び新任総括教諭等研修講座において、不祥事防止およびモラルアップに関する研修を実施した。 ・教育指導員が小中学校への訪問指導を実施した。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(所属長意見)

令和4年度不祥事ゼロプログラムについては、立案した行動計画に従い、時機をとらえて着実に取り組みを推進するよう努め、目標とするところを概ね達成していると捉えている。

令和5年度には、今年度重点的に取り組んできたことについて、さらなる日常化を図ることを課題とするとともに、より精度の高い業務遂行に向け、各課及び課内の情報共有、相互協力と相互チェック体制の充実をめざした改善についても取り組んでいきたい。